

第【 2 】学年 教科【 英語 】 担当【 】

1 学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、4技能5領域（「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やり取り）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」）の言語活動や、これらの複数の領域を結びつけた統合的な言語活動を通して、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2 使用教科書・教材

教科書 『Sunshine 2』（開隆堂）
副教材 『英語のパートナー 2』（正進社）

3 学習内容および学習時期の目安

	単元名	学習内容（教科書項目名）
1 学期（4～7月）	Program 1 New Start Program 2 Koshien Project in Africa Program 3 Taste of Culture Our project 4 海外でヒットするラ メンの CM を作ろう Read 1 The Three Dolls	未来表現 / 動名詞 接続詞 that / when / if 不定詞 グループプレゼンテーション
2 学期（8～12月）	Programme 4 Leave Only Footprints Program 5 Work Experience Program 6 High-Tech Nature Our project 5 日本のおすすめスポットを紹介し よう Read 2 Friendship beyond Time and Borders	比較級 / 最上級 / as～as… how to ～ / 〈look+形容詞〉〈become+名詞 [形容詞]〉 / 〈主語+動詞+人+もの〉 比較級 最上級 原級 ポスター発表
3 学期（1～3月）	Program 7 Unique Animals Program 8 A Hope for Lasting Peace Our project 6	Like を使う表現 teach など+人+how to～ 受け身 自己 PR

	My Hero の魅力を伝えよう	
	Read 3 Apollo 3	

4 評価規準およびその方法

	評価規準	評価項目・方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・未来表現 (be going to ～、will) などの意味や働きを理解している。 ・未来表現 (be going to ～、will)、接続詞 (when, if) などの意味や働きの理解をもとに、登場人物や自分がこれからしようと思っていることについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 ・think (that ～)、must や must not、have to ～ などの意味や働きを理解している。 ・think (that ～)、must や must not、have to ～ などの意味や働きの理解をもとに、登場人物や自分の考えについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 ・未来表現 (will) や think (that ～) などの既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、「夢の旅」 というテーマのスピーチを聞き取る技能を身に付けている。 ・to 不定詞 (名詞的・副詞的用法)、動名詞などの意味や働きを理解している。 ・to 不定詞 (名詞的・副詞的用法)、動名詞などの意味や働きの理解をもとに、週末にしたいことなどについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 ・比較級・最上級・as ～ as… などの意味や働きを理解している。 ・比較級などの意味や働きの理解をもとに、身近なものを比べた内容について、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 ・how to ～、〈look＋形容詞〉〈become＋名詞[形容詞]〉、〈主語＋動詞＋人＋もの〉 などの意味や働きを理解している。 ・how to ～、〈look＋形容詞〉〈become＋名詞[形容詞]〉、〈主語＋動詞＋人＋もの〉 などの意味や働きの理解をもとに、やり方を知っているものなどについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。 ・受け身 (肯定)、by を使った受け身とその疑問文、by 以外の前置詞を使った受け身などの意味や働きを理解している。 ・受け身 (肯定、by を使った受け身とその疑問文、by 以外の前置詞を使った受け身などの意味や働きの理解をもとに、身の回りのものについて、聞き取ったりクイズを出したりする技能を身に付けている。 	<p>定期考査 小テスト パフォーマンステスト ワークシート</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・動名詞や現在完了進行形などの既習の言語材料の意味や働きを理解している。 ・動名詞や現在完了進行形などの既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、この1年で得た「宝もの」というテーマのスピーチを聞き取る技能を身に付けている。 	
<p>思考・判断・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物のお別れ会についてほかの人に伝えるために、教室やお別れ会での会話文やメールについて概要や要点を捉えている。 ・登場人物のお別れ会についてほかの人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、絵を見て、相手に示しながら概要を話している。 ・自分の考えを相手にわかってもらえるように、夏休みなどの予定について、理由や具体的な内容を伝え合っている。 ・登場人物の海外での体験をほかの人に伝えるために、カナダでのハイキングについての会話文の概要や要点を捉えている。 ・登場人物の海外での体験をほかの人に伝えるために、カナダでのハイキングについて、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話している。 ・自分たちの「夢の旅」について伝えるために、自分たちの考えなどを整理し、写真や絵などを相手に示しながらスピーチをしている。 ・相手のグループの「夢の旅」についてもっとよく知るために、友だちのスピーチを聞いて自分が感じたり、考えたりしたことを簡単な語句や文などを用いて即興で伝え合っている。 ・読んだ内容をほかの人に説明するために、生物をヒントにした技術についての会話文の概要や要点を捉えている。 ・生物をヒントにした技術についてほかの人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話している。 ・自分の考えを相手にわかってもらえるように、自分の好きなものや大切なものについて、インタビューしたり理由とともに答えたりしている。 ・登場人物の体験をほかの人に伝えるために、職場体験の様子についての会話文の概要や要点を捉えている。 ・登場人物の体験をほかの人に伝えるために、職場体験の様子について、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話している。 ・スティービー・ワンダーについてほかの人に伝えるために、彼の曲や信念に関する会話文の概要や要点を捉えている。 ・スティービー・ワンダーについてほかの人に伝 	<p>定期考査 小テスト パフォーマンステスト ワークシート</p>

	<p>えるために、彼の曲や信念に関する会話文について、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある人物についてほかの人に伝えるために、その人物に関する情報について、簡単な語句や文などを用いて即興で伝え合ったり、書いたりしている。 ・ある人物について知るために、友だちの書いたポスターを読んで、概要や要点を捉えている。 	
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物のお別れ会の様子をほかの人に伝えるために、教室やお別れ会での会話文やメールについて概要や要点を捉えようとしている。 ・登場人物のお別れ会についてほかの人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話そうとしている。 ・自分の考えを相手にわかってもらえるように、夏休みなどの予定について、理由や具体的な内容を伝え合おうとしている。 ・外国人に自分の住んでいる地域を紹介するために、自分が住んでいる地域のおすすめについて、簡単な語句や文などを用いて、理由や具体的な内容とともに書こうとしている。 ・登場人物の海外での体験をほかの人に伝えるために、カナダでのハイキングについての会話文の概要や要点を捉えようとしている。 ・登場人物の海外での体験をほかの人に伝えるために、カナダでのハイキングについて、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話そうとしている。 ・自分の考えを相手にわかってもらえるように、修学旅行で行きたい場所やペットにしたい動物について、理由とともに伝え合ったり、簡単な語句や文などを用いて、理由とともに書いたりしようとしている。 ・自分たちの「夢の旅」について伝えるために、自分たちの考えなどを整理し、写真や絵などを相手に示しながらスピーチをしようとしている。 ・相手のグループの「夢の旅」についてもっとよく知るために、友だちのスピーチを聞いて自分が感じたり、考えたりしたことを簡単な語句や文などを用いて即興で伝え合おうとしている。 ・友だちの「夢の旅」について思ったことを伝えるために、自分が「行きたいと思った企画」と「じょうずだったグループ」について、簡単な語句や文などを用いて書こうとしている。 ・読んだ内容をほかの人に説明するために、生物をヒントにした技術についての会話文の概要や要点を捉えようとしている。 ・生物をヒントにした技術についてほかの人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、写真 	<p>定期考査 小テスト パフォーマンステスト ワークシート 課題や作品への取り組み 授業中の様子</p>

や絵を見て、相手に示しながら概要を話そうとしている。

- ・自分の考えを相手にわかってもらえるように、自分の好きなものや大切なものについて、インタビューしたり理由とともに答えたりしようとしている。
- ・登場人物の体験をほかの人に伝えるために、職場体験の様子についての会話文の概要や要点を捉えようとしている。
- ・登場人物の体験をほかの人に伝えるために、職場体験の様子について、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話そうとしている。
- ・何かの仕方や人の様子について、相手にわかってもらえるように伝え合おうとしている。
- ・忘れないようにするために、自分がもらったアドバイスでよいと思ったものについて、簡単な語句や文などを用いて書こうとしている。
- ・スティービー・ワンダーについてほかの人に伝えるために、彼の曲や信念に関する会話文の概要や要点を捉えようとしている。
- ・スティービー・ワンダーについてほかの人に伝えるために、彼の曲や信念に関する会話文について、簡単な語句や文などを用いて、写真や絵を見て、相手に示しながら概要を話そうとしている。
- ・てもらえるように、みんなに知られている人やもの、イベントについて伝え合おうとしている。
- ・友だちに紹介するために、自分の好きな本や絵、マンガ、建物などについて、簡単な語句や文などを用いて話したり書いたりしようとしている。
- ・ある人物についてほかの人に伝えるために、その人物に関する情報について、簡単な語句や文などを用いて即興で伝え合ったり、書いたりしようとしている。
- ・ある人物について知るために、友だちの書いたポスターを読んで、概要や要点を捉えようとしている。